

問題 日大アメフト部殺人タックル

鳴り物入りで新設のお笑い 危機管理学部は 名前を変えるべき

田内はいるのか
内田はいるのか
内田はいるのか

問題の試合から2週
間。日大は沈黙したま
まだ。6日に行われたアメ
リ人タックルで関学選
手

が負傷した問題。「意図的な乱暴行為を行うことなどを選手へ教えることは全くない」「指導と選手を受け取り方に乖離が起きたことが今回の問題の本質と認識している」とする日大アメフト

部の回答を受け、関学大はきのう(17日)、兵庫県西宮市内で記者会見したが、「弊部の抱える疑問、疑念を解消できておらず、現時点では誠意ある回答とは判断しなかった」と怒りは収まらなかった。

「ルールを逸脱した行為を監督・コーチが容認していたと疑念を抱かざるを得ない」(関学アメフト部の小野宏ディレクター)

「同じ指導者として到底受け入れることができない」(同部の鳥内秀晃監督)



会見に臨む関西学院の鳥内監督(右)と小野ディレクター

「程度のメッセージをインプレッション教育を行っていただけで、大学も正式な会見を開いていない問題対応を見る限り、幸いにも「殺人タックル」を受けた関学選手は大事には至っていないが、一歩間違えたようだが、一歩間違えたから傷害事件に発展していかもれないのだ。

「今回の日大の対応は問題です。問題が発生した直後、選手を指導したり謝罪をしたりするなど現状での対応をとらなかつたこと。さらに大学側が第三者委員会をつくるなどして徹底調査する方針を示さず、説明する義務を怠っていることです。」

「監督の」指示の有無でなく、危険行為だったも鳴りやみません」(広報担当)というありさまだ。

「日大は2016年度、日大の学祖の理念を受け継ぐ学部」と鳴り物入りで「危機管理学部」を新設した。講義内容は「危機管理学部」に名前を変えていたが、

「危機管理学部」は「危機管理学部」に名前を変えていたが、(42ページに連続記事)



MITSUBI ELECTRIC
ages for the B